

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

評価 責任 者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 望月克彦

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	1 拠点を結び円滑な公共交通
----	----------------

施策の 目的	快適で質の高いまちの拠点や拠点間等の交通環境の充実により、新たな交流と活力を生み出し、活発な経済活動や安心・安全な市民生活の実現を目指します。
-----------	---

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得たことにより、会議において目的や成果の共有化が図られたことや、静岡鉄道における駅周辺交通環境改善計画を作成し、成果指標を達成したため。
	令和2 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得たことにより、会議において目的や成果の共有化が図られたことや、新駅周辺住民による「公共交通利活促進検討会」を発足し公共交通利用促進策を検討することにより、成果指標を達成したため。
	令和3 年度	S：施策の目的が十分に達成されてい る。	理由	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得たことにより、会議において目的や成果の共有化が図られたことや、鉄道利用者数の回復を図るため、利用促進動画を作成し啓発を図ったことにより、成果指標を達成したため。
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	コロナ禍以降、生活様式の変化等の影響により公共交通の利用者数は減少している。そのような状況下でも路線バス事業者等の支援継続により、令和4年度は廃止する路線がなく運行を維持し、利用者の利便性確保を行っているため、施策の目的は達成していると判断した。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	2	3	4		
	公共交通の利用者数 (1日平均乗車人数 ※乗車のみ)	201,059人/日 (H24) JR：97,715人/日 静鉄：30,278人/日 バス：73,066人/日	1	192,170	205,876	107%	a	●都心、副都心、交流拠点を中心に、市民のみならず来訪者にも、安全で快適に移動できる公共交通の利用しやすいまちづくりの成果を確認するため、鉄道、バスの利用者数（一日当たり乗車人数）を目標値とした。 令和4年：195,726人/日（JR：95,091人/日 静鉄：29,465人/日 バス：71,170人/日） ※施策実施により減少傾向を抑制。施策を講じない場合、177,324人/日
			2	192,170	207,967	108%	a	
			3	192,170	207,192	108%	s	
			4	195,726	169,750	87%	b	
			1					
			2					
			3					
			4					
指 標 成 果 以 外 の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
総合交通計画の推進事業	地域公共交通会議を開催し、すべての検討事項について承認を得た。	1	1	614	0	614	1.8	0.0	0.0	○
			2	614	0	614	1.8	0.0	0.0	
			3	6,150	0	6,150	1.8	0.0	0.0	
			4	11,150	0	11,150	1.8	0.0	0.0	
追分・大坪駅設置検討事業	(仮称)追分・大坪新駅の整備に向け、広く市民に対し公共交通に興味をもってもらい、鉄道利用者数の増加に繋げるために、鉄道事業者と協力し、静岡鉄道沿線謎解きイベントを実施した。	1	1	3,495	7,981	11,034	1.0	0.0	0.0	○
			2	2,850	0	2,803	1.0	0.0	0.0	
			3	2,000	0	1,265	1.0	0.0	0.0	
			4	1,900	0	1,886	1.0	0.0	0.0	
路線バス維持対策事業	路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保した。	1	1	437,976	0	437,879	1.5	0.0	0.0	○
			2	343,414	0	339,315	1.5	0.0	0.0	
			3	371,695	0	371,037	1.5	0.0	0.0	
			4	353,854	0	346,338	1.5	0.0	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、-:計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、総合評価欄のとおり期待通りの成果を上げることができたが、路線バス維持対策事業についてはコロナ禍での減収などによる負担増やバス運転士不足によるサービス低下が課題となっている。現在、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正による、「地域の輸送資源の総動員」や「地域の関係者の共創」の考え方踏まえ、地域公共交通計画の策定を進めているところであり、今後の地域公共交通のあり方を検討し、利便性・持続可能性・生産性が向上するよう、地域公共交通サービスの支援を継続していく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

評価責任者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 望月克彦

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	2 公共交通が利用しやすい環境の充実
----	--------------------

施策の目的	利用者の安全性や快適性の向上を図るため、鉄道駅のバリアフリー化や超低床ノンステップバスの導入など、誰もが安全で利用しやすい交通環境の充実を目指します。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	理由
	A：施策の目的が達成されている。	理由 JR由比駅のバリアフリー化を完成させ、バスについても、路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保した。また、交通弱者対策としても、支援するNPO法人の個別の地区への説明や、社会福祉協議会実施の運転ボランティア講座等での周知を行ったことにより、成果指標を達成したため。
	A：施策の目的が達成されている。	理由 路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保した。また、交通弱者対策としても、支援するNPO法人の個別の地区への説明や、社会福祉協議会実施の運転ボランティア講座等での周知を行ったことにより、成果指標を達成したため。
	A：施策の目的が達成されている。	理由 鉄道駅のバリアフリー化について、新型コロナの影響を鑑み、事業者と協議を実施し、事業スケジュールの見直しを実施したため、目標未達であった。しかし、路線バスの不採算路線に補助することにより、バス路線を維持し、市民の足となる生活交通を確保し、また交通弱者対策としても、実施地区を1地区増加させたことや個別の地区への説明等での周知を行ったことにより施策の目的は達成した。
	A：施策の目的が達成されている。	理由 鉄道駅のバリアフリー化について、新型コロナウイルスの影響を鑑み、事業者と協議を実施し、事業スケジュールの見直しを実施したため、目標未達であった。しかし、鉄道施設更新への補助により安全輸送を確保し、また交通弱者対策については実施地区を1地区増加させたことにより施策の目的は達成した。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	バリアフリー化が必要とされている鉄道駅のうち実施されている割合	75%【12/16駅】	1	76%【13/17駅】	76%【13/17駅】	100.0%	a	●市民生活の移動を行う上で鉄道駅は、バス、自転車などの交通の乗り換え・乗り継ぎ機能を持ち、交通結節点として重要な役割を担っていることから、誰もが安全で利用しやすい交通施設環境が形成されている状況を確認するため、「バリアフリー化が必要とされている鉄道駅のうち実施されている割合」を指標に設定している。 平成26年：56%【9/16駅】→平成30年：75%【12/16駅】→令和3年：68%【13/19駅】（R2の基準改正により対象駅が19となった）
2			82%【14/17駅】	76%【13/17駅】	92.7%	b		
3			74%【14/19駅】	68%【13/19駅】	91.9%	b		
4			74%【14/19駅】	68%【13/19駅】	91.9%	b		
		1						
		2						
		3						
		4						
指標以外の成果		1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
鉄道駅バリアフリー化の推進事業	JR由比駅のバリアフリー化を完成させた。(R1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により静鉄古庄駅及びJR蒲原駅のバリアフリー化設備整備事業の実施を見送った。(R2) 静鉄古庄駅の詳細設計、JR蒲原駅の点字ブロック設置を実施した(R3) 静鉄古庄駅上下線のバリアフリー化工事の実施(R4、R5)	1	1	42,000	10,485	45,106	1.0	0.0	0.0	○
			2	57,100	0	0	0.0	0.0	0.0	
			3	11,200	0	11,200	1.0	0.0	0.0	
			4	55,900	0	0	1.0	0.0	0.0	
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業	鉄道施設の更新を促進することで、計画どおり事故はなく、市民の安全な輸送を確保した。	1	1	35,000	0	35,000	0.3	0.0	0.0	○
			2	35,000	0	35,000	0.3	0.0	0.0	
			3	35,000	0	16,472	0.3	0.0	0.0	
			4	35,000	0	22,133	0.3	0.0	0.0	
バス利用促進等総合対策事業	地域に適した効率的、効果的な地域公共交通の運行形態再編の検討を行った。	1	1	10,700	0	10,451	1.2	0.0	0.0	○
			2	9,365	0	7,941	1.2	0.0	0.0	
			3	4,520	0	1,628	1.2	0.0	0.0	
			4	10,390	0	7,951	1.2	0.0	0.0	
地域交通弱者対策事業	個別の地区への説明や、自治会主催の講座等での周知を行い、新規実施1地区の増加につながった。	1	1	4,000	0	1,630	0.3	0.0	0.0	○
			2	4,000	0	1,766	0.3	0.0	0.0	
			3	4,148	0	2,883	0.3	0.0	0.0	
			4	5,733	0	4,499	0.3	0.0	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、総合評価欄のとおり期待どおりの成果を上げることができたが、公共交通をさらに利用しやすい環境にしていくためには、継続的な支援をしていく必要がある。このため、第4次総合計画には、鉄道駅のバリアフリー化や鉄道施設の更新、交通弱者対策への支援を位置付け、継続して取り組んでいくことで、公共交通の利便性向上や安全確保に努めていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

評価 責任 者	所属	都市局 都市計画部 交通政策課
	氏名	課長 望月克彦

政策	4 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実を推進します
----	-----------------------------

施策	3 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備
----	------------------------

施策の 目的	令和2年3月に改訂した「静岡市自転車活用推進計画」に基づき、「健康の増進」、「環境負荷の軽減」、「利用の促進」、「賑わいの創出」、「モラルの向上」、「プライドの確立」を基本目標とし、ハード、ソフト、マインドの各分野での施策（40施策）を実施することにより、「世界水準の自転車都市”しずおか”」の実現を目指すことを目的としています。
-----------	---

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	計画通り自転車の魅力向上イベントを開催し、集客目標人数を達成したことや、計画通り自転車サポーターを25団体認定したことにより、成果指標を達成したため
	令和2 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	自転車の魅力向上イベントをコロナ禍に合った形式で開催したことや、計画通り自転車サポーターを25団体認定したことにより、成果指標を達成した。
	令和3 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	自転車の魅力向上イベントをコロナ禍に合った形式で開催したことや、計画通り自転車サポーターを25団体認定したことにより、成果指標を達成した。
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	自転車サポーター認定数は15団体と、目標値を下回ったが、自転車の魅力向上イベントの開催、シェアサイクル事業の運営、複数のサポーターが関与したサポーター主体の連携イベント等を実施し、自転車活用の推進を図った。また、それらを活用した自転車利用者へのマナー啓発や、放置自転車の撤去により、放置自転車台数が減少する結果となった。そのため、施策の目的を達成したと判断する。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	2	3	4		
成果 指標	まちなかにおける放置自転車台数	1,017台 (H30)	1	953	664	143.5%	s	静岡市自転車活用推進計画の評価指数の中から、「まちなかの放置自転車台数（静岡駅周辺及び中心地）」指標の目標値を使用 ※目標値については、「静岡市自転車活用推進計画」（計画期間：H27年度からR6年度）に定めた指標であるため、計画の見直し時期に合わせて、指標の見直しを行う予定
			2	889	606	146.7%	s	
			3	825	805	102.5%	a	
			4	760	637	119.3%	s	
	自転車公認サポーター認定企業・団体数	51団体 (H30)	1	25	25	100.0%	a	
			2	25	25	100.0%	a	
			3	25	25	100.0%	a	
			4	25	15	60.0%	d	
指標 成果 以外の の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
自転車利用計画推進事業	①サイクルフェス、サイクルラリーを実施し、1,928名が参加 ②自転車サポーターを15団体認定 ③静岡市シェアサイクル「PULCLE」の運営 ④自転車ウェブサイトの運営 ⑤自転車のりかたBOOKの配布	1	1	7,066	0	7,051	2.0	0.0	0.0	○
			2	8,447	0	5,966	2.0	0.0	0.0	
			3	7,107	0	6,415	2.0	0.0	0.0	
			4	6,751	0	5,347	2.0	0.0	0.0	
市営駐輪場及び市営自転車等駐車場の維持管理事業	①葵区、駿河区の14の施設管理 ②有料施設の定期券受付をインターネットで実施	1	1	298,728	0	297,775	1.0	-	1.0	○
			2	332,971	0	326,711	1.0	-	1.0	
			3	292,652	0	288,300	1.0	1.0		
			4	307,503	0	301,501	1.0	1.0		
放置自転車等の対策事業	①放置自転車禁止・規制区域での指導・撤去 ②市内中学1年駐輪場利用のチラシ配布 ③自転車区域マップ（静岡駅周辺）の英語訳作成	1	1	73,295	0	72,187	1.0	-	1.0	○
			2	70,286	0	66,744	1.0	-	1.0	
			3	68,720	0	64,432	1.0	1.0		
			4	67,985	0	65,445	1.0	1.0		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、今後も引き続き自転車の活用を推進し、「世界水準の自転車都市”しずおか”」の実現を目指す必要がある。自転車活用推進にあたっては、官民の連携や、民間事業者同士の連携を課題としてとらえているため、自転車サポーター同士の連携をさらに強化していくことで、取組効果の更なる拡大を図りたい。